

男鹿潟上南秋地区特別支援連携協議会通信No.11

事務局 秋田県立支援学校天王みどり学園

発行：平成28年10月13日



男鹿市特別支援連携協議会を開催



今年度も「地域の子どもは地域で育てる」をキーワードに、2回目の本協議会を地元で開催する予定です。今号では、他地区に先駆けて10月3日（月）、男鹿市で開催した協議会の内容を中心にお届けします。

1 事務局の報告（男鹿潟上南秋地区の支援体制の動向について）



（1）潟上市が「満5歳児相談」をスタート！（県内では18市町村で実施）

内容は子どもの集団遊びと簡易な発達検査、保護者面談である。特徴としては、保健センターのような公共の場ではなく、各園で実施していること、希望者ではなく、全員の保護者と面談を行っていることがあげられる。保健師の他に、臨床心理士、家庭相談員、自立支援員、教育委員会の就学担当者、天王みどり学園の職員等、たくさんのスタッフが役割分担をしながら相談会を支えている。早期からの相談支援体制が整備され、子どもの情報が途切れなく引き継がれることが期待される。

（2）井川町が「就学前及び満5歳児相談会」を試行的実施！

定期的に医療療育センターの相談員や天王みどり学園の特別支援教育アドバイザーが巡回相談を行っていたが、先月30日に教育委員会主催による年長児と年中児を対象にした相談会を実施した。来年度以降、他地区の取り組みを参考にして、満5歳児相談会や就学前園訪問に発展することを期待している。



（3）「就学支援シート」の作成から活用へ

本地区では「就学支援シート」の作成率が100%である。より活用しやすいように、全ての市町村で様式を変更したり、作成後に関係者が一堂に会して情報交換をしたりするなど、教育委員会が積極的な働きかけをしている。

2 協議・質疑応答

テーマ「地域で特別な支援が必要な子どもを支える・つなぐネットワークの構築」

○健康子育て課

- ・「満5歳けんこう相談」を受けた子どもでフォローが必要なケースについては、家庭へ電話をかけたり、保健師や臨床心理士が園訪問をしたりし適切なアドバイスをしている。また、必要に応じて教育委員会につなげている。（昨年度の参加率は98%）
- ・保護者へのフォローが必要なケースが増えている。園と連携した支援を継続するとともに、小学校へ引き継ぐ必要がある。



○教育委員会

- ・男鹿市特別支援教育コーディネーター等連絡協議会（7月26日開催）や男鹿市障害児教育支援員会（9月8日開催）の内容について報告する。
- ・教育委員会主催で、小学校の特別支援教育コーディネーターと年長児を対象にした園訪問を実施しているが、今年度は「満5歳けんこう相談」のデータを活用している。
- ・保護者に支援員が認知されて希望が増えているが、全て希望を叶えるのは難しい。

○指定相談支援事業所（玉の池荘）

- ・障害福祉サービスに関する情報について、資料を基に報告する。特にグループホームの利用状況、就労継続B型事業の紹介、日中一時支援事業の利用状況については事例を交えながら詳しく説明する。

○保育園

- ・園だよりの行事予定に、保健師や臨床心理士、天王みどり学園の職員の来園日を紹介して、保護者が相談しやすい雰囲気づくりを心掛けている。
- ・保育士が子どもの姿を保護者に伝えることに消極的だったが、「満5歳けんこう相談」がスタートしてから、保育士の意識が変わり少しずつ普段の様子を伝えるようになってきた。
- ・医療療育センターでの指導を参観したが、療育センターの先生の話と保護者の受け止め方に食い違いがあり、定期的に保護者と同行して共通理解を図る必要がある。
- ・小学校と連携した支援体制づくりが課題となっている。

○小学校

- ・秋季休業の時期に、「個別の支援計画」や「個別の指導計画」の中間評価・改善をしている。
- ・3月に園と引き継ぎを行っているが、その前に子どもの実態を把握するために、保育園と小学校双方が、保育や授業を参観し合う機会を設けている。
- ・通級指導教室の利用者は20名である。働いている保護者が多いため、他校児童の指導時間の調整が難しい。

○中学校

- ・3月に小学校との情報交換を実施しているが、支援が必要な子どもに関しては、小学校の担任、教頭を交えた情報交換を丁寧に行っている。
- ・3年生の進路指導が課題になっている。保護者は先の見通しがもてない不安があるため、子ども理解を進めるとともに、進路先に関する具体的な情報提供と早めの教育相談を実施したい。



○高等学校

- ・特別な支援を必要とする生徒が数名在籍している。感情のコントロールが難しい、「べき思考」にこだわるあまり他者の行動が許せず不安定になる等、学習面よりも行動面への支援が必要な生徒が多く、校内で情報を共有している。

特別な配慮を必要とする子どもへの支援状況について、関係者から取組状況を報告してもらいました。支援の成果は、「支援を受ける人の気持ち」×「支援をする人の気持ち」×「関係機関のチームワーク」です。関係機関が連携して大きな成果を上げましょう。



事務局ニュース

1 好評！障害理解を促す出前授業

- ・3年前から天王みどり学園では、障害理解授業を実施しています。「障害者にもできることや障害者にしかできないことがあるなどたくさんの発見がありました」、「命の大切さに気付き、今生きていることに感謝しながら生きていきたいと思いました」等、子どもたちの内面の変化が表れている感想が寄せられています。

2 天王みどり学園への教育相談

- ・例年よりも早く、本校へ教育相談に訪れる学校が増えました。7月のみんなの登校日にもたくさんの方が来校してくださいました。これから就学時健診や進路面談の時期を迎えます。いつでも教育相談を受け入れていますので、連絡をお待ちしています。

3 本協議会地元開催に向けて

- ・来年1月下旬から2月上旬にかけて、男鹿市に続いて他地区でも本協議会を開催したいと考えています。11月中に各市町村の行政の実務担当者に連絡をして、開催日時や場所、協議内容等について打合せをしますので、よろしくお願いいたします。

